

# バイデン「スーパー経済パッケージ」の皮肉

## 世界中の輸出業者のために 40 兆円を創出： 中国の対米輸出は 6.6 兆円増加

March 2021

**LUDOVIC SUBRAN**Chief Economist  
[ludovic.subran@allianz.com](mailto:ludovic.subran@allianz.com)**ALEXIS GARATTI**Global Head of Economic Research  
[Alexis.Garatti@eulerhermes.com](mailto:Alexis.Garatti@eulerhermes.com)**FRANÇOISE HUANG**Senior Economist  
[Francoise.Huang@eulerhermes.com](mailto:Francoise.Huang@eulerhermes.com)**GEORGES DIB**Economist  
[Georges.Dib@eulerhermes.com](mailto:Georges.Dib@eulerhermes.com)

米国の約 200 兆円の景気刺激策は、2021 年～2022 年にかけて財・サービスの輸入をさらに 40 兆円増加させるものです。

- バイデン大統領の景気刺激パッケージは、議会で最終的な承認を得、今後、国内需要を刺激するポジティブな効果を生み出すとみられます。
- 当社では、米国の GDP 成長率予想を 2020 年に-3.5%縮小した後、**2021 年に前年比+5.3%成長**(2020 年 12 月の予測は+3.6%)、**2022 年に同+3.8%成長**(同+3.1%)するものと上方修正しました。
- この修正に伴い、失業率は 2022 年末に 4.3%(2021 年 2 月で 6.2%)になると予測していますので、この危機の間に蓄積された家計の過剰貯蓄は、**予想より早く解消に向かう**と見込まれます。
- 2022 年末の米家計の貯蓄率は、総可処分所得の 7%(2021 年 1 月は 20.5%)になるとみられます。景気刺激策は企業の景況感も押し上げ、住宅以外の投資を下支えします。この国内需要の増加は米国の生産者によって完全に吸収されてしまうわけではありません。当社は、米貿易赤字が 2021-2022 年に GDP 比で平均 4.5%に拡大するとみています(過去 5 年間の平均は 2.9%)。より正確に言えば、国内需要が 1%増加すると米国の輸入は 2.6%増えると推定されます。

その結果、バイデン大統領の超景気刺激策、いわゆるスーパー経済パッケージは世界中の輸出業者を後押しすることになります。

- 2021-2022 年に輸出の追加的増加が最も大きくなるセクターは、**家庭用機器**(+3.5 兆円)、**コンピューター・通信**(+3.3 兆円)、**自動車製造**(+3.3 兆円)、**機械・機器**(+3.2 兆円)でしょう(図 1)。
- 地域別では、2021-2022 年に最も増加する地域は、**西欧**(+10.7 兆円)、**中国以外のアジア**(+8.3 兆円)、**中国**(+6.6 兆円)、中南米(+6.5 兆円)でしょう(図 2)。
- 米国の景気刺激策と経済回復プランから考察すると、この輸出増の約 4 分の 3 は、2021 年および 2022 年 1-3 月期で実現するでしょう。

絶対額では、**中国、メキシコ、カナダの輸出業者が群を抜いて大きな恩恵を受けます**(図 3)。

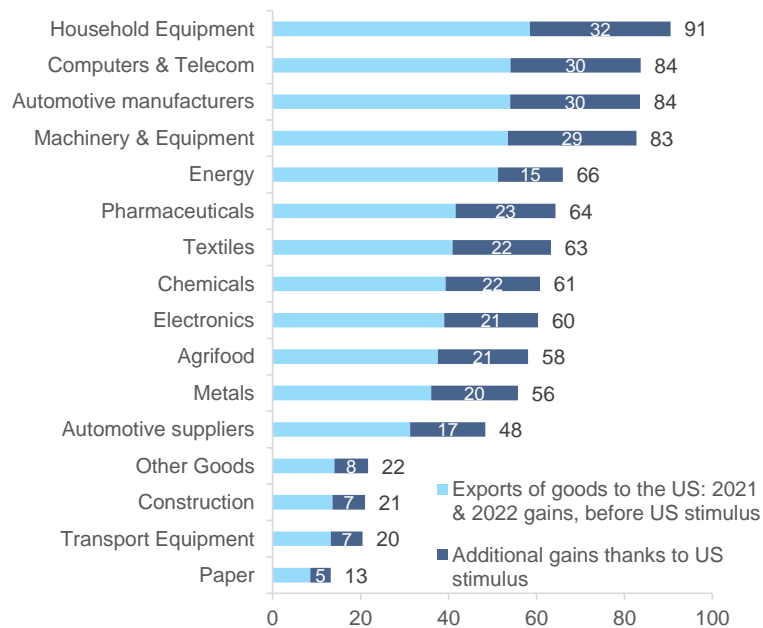
- 中国の対米輸出の増加(2021-2022 年全体で+6.6 兆円)は、**コンピューター・電気通信、家庭用機器、繊維製品に集中**するとみられます(図 4)。
- メキシコの追加的な輸出の増加(合計+5 兆円)については、自動車セクターが比較的大きな割合を占めるでしょう。
- 欧州では、ドイツの輸出業者がこの米景気刺激策から最も大きな利益を得る位置に立っており(2021-2022 年に+2.4 兆円)、英国(+1.8 兆円)、アイルランド(+1.4 兆円)、フランス(+1.1 兆円)がこれに続きます。

- ドイツでは、機械・機器、自動車、医薬品の各セクターの輸出業者が特に影響を受けます。

相対的に見ると、2021年の対GDP寄与度が最大となる国は、メキシコ・ベトナム・アイルランド・カナダ・マレーシアでしょう(図5)。

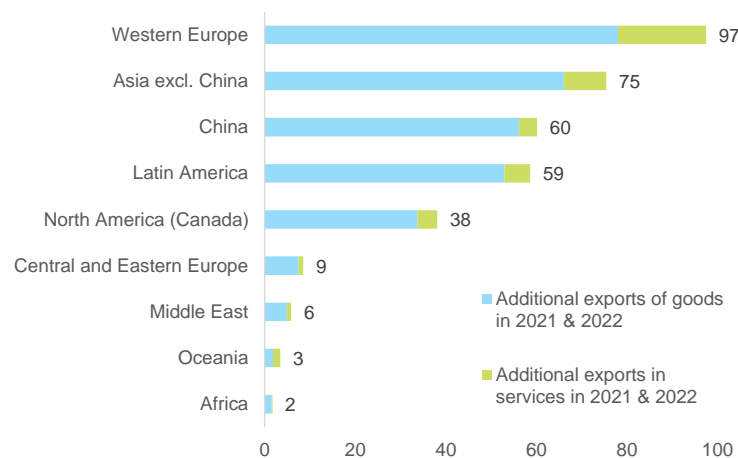
- 2021年と2022年における米超景気刺激策を原因とする財・サービス輸出の追加的な増加は、メキシコで2021-2022年のGDPの1.7%、ベトナムで同1.4%、アイルランドで同1.3%に達します。
- **ベトナムでは、繊維製品やコンピューター・電気通信の輸出業者が米景気刺激策のメリットを活かす**一方で、アイルランドでは、医薬品や化学・サービス、マレーシアでは電子機器の輸出増加が相対的により大きくなります。

図1:セクター別の輸出の増加



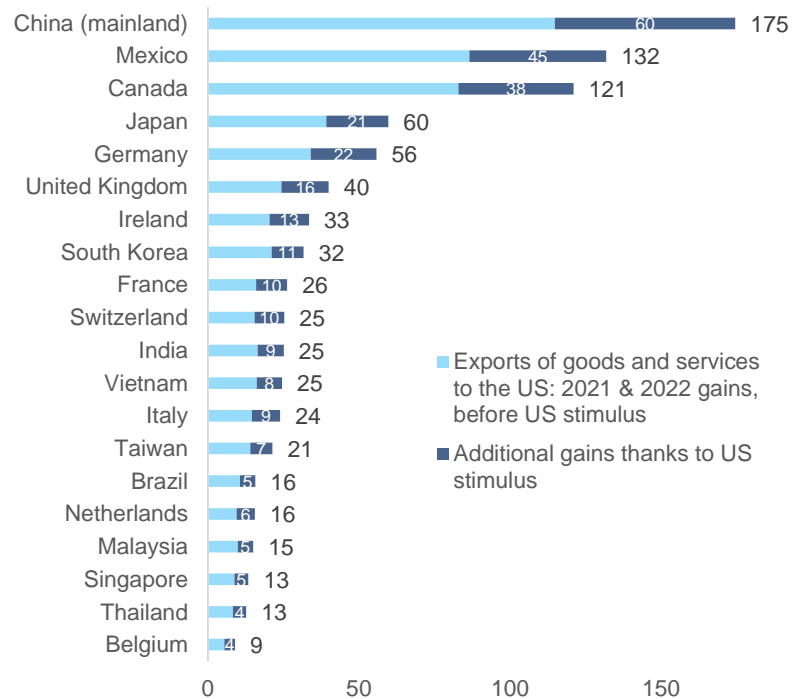
注記: 弊社では、輸出の増加をある年と比べた別の年の輸出の増加額と定義します。  
出典: UNCTAD, ユーラーヘルメス, アリアンツ・リサーチ

図2: 米景気刺激策を原因とする2021-2022年の財・サービス輸出の追加的な増加、地域別\* (10億米ドル=約1,100億円)



\* 世界貿易の95%を占める70か国を対象とした弊社の調査に基づいています。  
出典: UNCTAD, ユーラーヘルメス, アリアンツ・リサーチ

図 3: 米景気刺激策を原因とする 2021-2022 年の財・サービス輸出の追加的な増加、国別 (10 億米ドル=約 1,100 億円)



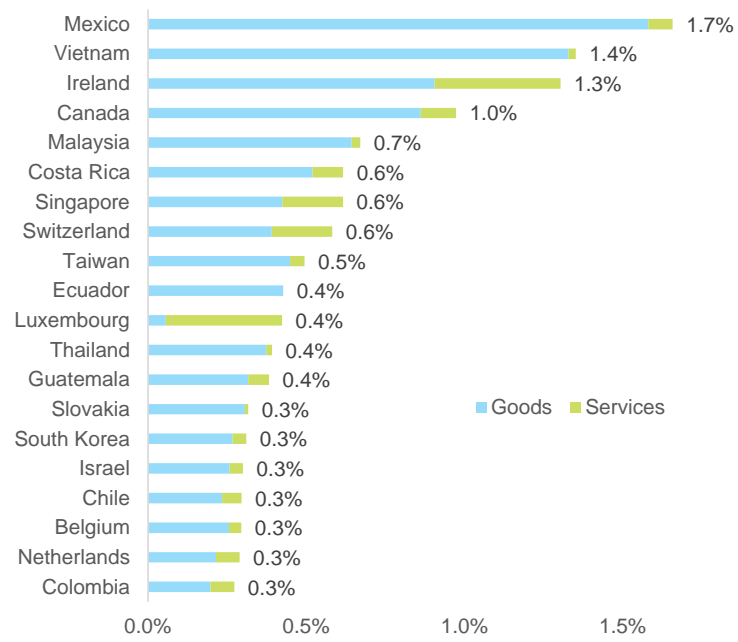
Source: UNCTAD, Euler Hermes, Allianz Research

図 4: 米景気刺激策を原因とする 2021-2022 年の財・サービス輸出の追加的な増加、TOP10 セクター、主な国別 (100 万米ドル=約 1,1 億円)

	China	Mexico	Canada	Japan	Germany	UK	South Korea
Agrifood	1,026	3,499	3,329	132	313	400	130
Automotive manufacturers	481	8,490	5,174	5,072	3,128	1,350	2,081
Automotive suppliers	2,199	4,285	1,834	1,977	1,658	250	1,066
Chemicals	3,548	1,547	2,807	1,049	1,540	883	679
Computers & Telecom	13,682	5,300	498	607	408	183	1,147
Construction	1,960	819	994	252	409	126	137
Electronics	3,769	4,110	897	1,202	1,643	520	725
Energy	408	527	5,423	273	199	457	358
Household Equipment	11,542	4,753	1,031	1,093	783	1,343	635
Machinery & Equipment	3,963	3,360	2,431	3,082	3,409	1,339	1,059
Metals	2,810	2,113	3,300	561	1,110	708	625
Paper	758	283	1,655	89	210	119	92
Pharmaceuticals	865	1,203	825	657	2,953	1,088	160
Textiles	8,477	832	354	93	198	132	189
Transport Equipment	707	813	861	509	763	419	138
Other Goods	0	1,349	2,356	959	362	108	2
Services	3,614	2,094	4,366	2,955	2,794	6,249	1,469
<b>Total (USD m in)</b>	<b>59,808</b>	<b>45,377</b>	<b>38,133</b>	<b>20,561</b>	<b>21,878</b>	<b>15,674</b>	<b>10,693</b>
<b>Total (as % of 2021 &amp; 2022 GDP)</b>	<b>0.2%</b>	<b>1.7%</b>	<b>1.0%</b>	<b>0.2%</b>	<b>0.2%</b>	<b>0.2%</b>	<b>0.3%</b>

Source: UNCTAD, National sources, Euler Hermes, Allianz Research

図 5: 米景気刺激策を原因とする 2021-2022 年の財・サービス輸出の追加的な増加、国別(% of 2021-2022 GDP)



Source: UNCTAD, National statistics, Euler Hermes, Allianz Research

These assessments are, as always, subject to the disclaimer provided below.

#### **FORWARD-LOOKING STATEMENTS**

The statements contained herein may include prospects, statements of future expectations and other forward-looking statements that are based on management's current views and assumptions and involve known and unknown risks and uncertainties. Actual results, performance or events may differ materially from those expressed or implied in such forward-looking statements.

Such deviations may arise due to, without limitation, (i) changes of the general economic conditions and competitive situation, particularly in the Allianz Group's core business and core markets, (ii) performance of financial markets (particularly market volatility, liquidity and credit events), (iii) frequency and severity of insured loss events, including from natural catastrophes, and the development of loss expenses, (iv) mortality and morbidity levels and trends, (v) persistency levels, (vi) particularly in the banking business, the extent of credit defaults, (vii) interest rate levels, (viii) currency exchange rates including the EUR/USD exchange rate, (ix) changes in laws and regulations, including tax regulations, (x) the impact of acquisitions, including related integration issues, and reorganization measures, and (xi) general competitive factors, in each case on a local, regional, national and/or global basis. Many of these factors may be more likely to occur, or more pronounced, as a result of terrorist activities and their consequences.

#### **NO DUTY TO UPDATE**

The company assumes no obligation to update any information or forward-looking statement contained herein, save for any information required to be disclosed by law.

本稿に関するお問合せ

ユーラーヘルメス信用保険会社 日本支店  
〒120-0094 東京都千代田区千代田 4 番 1 号  
ニューオータニガーデンコート 10 階  
TEL: 03-3238-2560  
Info\_jp@eulerhermes.com  
www.eulerhermes.co.jp